



るるてる



2026 年
2 月
No.938

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631
■ウェブサイト■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 竹田大地 koho@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円（郵税を含む）
■振替口座■ 00190-7-71734

説教「あなたの羊飼いは誰ですか」

日本福音ルーテル岡山教会・松江教会・高松教会・福山教会・三原教会牧師 加納寛之

イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」（ヨハネによる福音書21:17）

〈牧師としての働き〉

「岡山教会、松江教会、高松教会、福山教会、三原教会の牧師の加納寛之です。これが今の私の自己紹介であり、担うことを与えられた働きです。4県5教会、広範囲（山陽、山陰と瀬戸内海を渡って四国と広島）ということで驚かれるところまでがセツトです。そこに建てられた教会の歴史を大切に、信徒と共に歩む恵みをかみしめています。人と出会い、神様と共に歩むことは喜びです。とはいえ、心苦しいですが、毎週それぞれの教会に行つて牧師が礼

〈羊飼いと〉

牧師という呼称はラテン語の「牧者」を語源として、イエス様が「私は良い羊飼いである」と言われたことに倣い、羊飼いのような指導者、師として歩む者を指します。大前提はイエス様が羊の大牧者であるということ。牧師も信徒も



「善き羊飼ひ」
イタリア、ローマ、プリシラのカタコンベ（3世紀後半）

製作するためのインタビューを受けました。離れた教会を一緒に回り、礼拝を守りながら「日本福音ルーテル教会では無牧というのではないです」とお伝えしました。無牧というと牧師が住んでいない教会のことを指すと思われ、かもしませんが、牧師が不在状態の教会のことを指します。日本福音ルーテル教会では居住する牧師がいなくても必ず主任牧師が任命（しやうへい）

れます。たとえ距離は離れていても牧師、あなたの羊飼いは居るのです。これは幸せなことだと思います。羊飼いの居ない迷う羊になることはない。「あなたの羊飼いは誰ですか」と問われた時、自信をもって自分を牧する者の名前を挙げられるでしょうか。牧師と信徒が信頼関係をもつて歩みたいと願います。

〈あなたも羊飼ひ〉

教会の中の羊飼ひは牧師だけではなく、信徒は羊であると同時に羊飼ひでもあります。教会は信徒の相互牧会があるからこそ豊かに歩めるのです。むしろ、信徒の相互牧会がなければ教会という主の家族の交わりは成り立ちません。牧師が離れた場所にいるからこそ強く実感し、深く感謝し、信頼しています。羊飼ひとは、役員や、司式や、礼拝奉仕をしてくれる人だけではなく、互いに声をかけあうこと、祈りに覚えること、目に付かない奉仕などを通してあなたも羊飼ひとなつてい



さをもつて自然な姿で羊飼ひとして歩んでいると覚えてほしいと思います。

〈時に役割を変えながら〉

私は学生時代、山岳部でしたが、登山パーティーは、リーダーが先頭、サブリーダーが最後尾を担うのが一般的です。リーダーは、羊飼ひと同じ役割を担い、正しい道へと導き、後ろの者に気を配って進みます。けれども、危険な場所ではリーダーとサブリーダーが場所を入れ替

え、リーダーは後ろから群れを守り、サブリーダーが皆を導きます。イエス様、牧師そして信徒。教会はそれぞれが羊飼ひとして教会の歩みの中で時に先頭に立ち、時に後ろに行き、役割を変え、信頼しながら歩んでいるのです。私たちは誰もが等しく神様に愛される羊であり、羊飼ひとしても歩みます。わたしもあなたも羊飼ひ。牧師も信徒も互いに養い、養われる者となる感謝をもつて、信仰生活を歩みましょう。



伊藤早奈

⑦「これいいよね」

「それから、わたしたち生き残っている者が、空中で主と出会うために、彼らと一緒に雲に包まれて引き上げられます。このようにして、わたしたちはいつまでも主と共にいることになりま

たので、「この歌も賛美歌の一つですよ」とお伝えすると驚かれていました。あーこの言葉、ちよつといいなとか、この曲好きとか、あの人の考え、方好きだなとか、いろんな出会いがあります。それがまたまキリスト教だったということも、そうではないこともありま

響いた出会いには必ず寄り添ってくださる方がおられ、語りかけてくださる。と思い私は安心しました。「何となく好きよ」とあなたが思うそこに「あなたを大好きだよ」と語られる方が必ずおられます。私に何度も繰り返されるあの賛美歌も、私に繰り返される神様から語られる声なのかもしれません。



そのような私に、私の職業を「存じのはずのその人は意外にも「何で知ってるの?」とお聞きになられ

神学教育委員会では
神学校と話し合いを続け
て2024年から、この
大きな体制変化を見越
して新しい体制を検討し
てきました。この見通し

これを実現するために
(図をご覧ください)、神
学候補生(「神学生」)の立
場について、「神学校生」と
「教会付教職候補生」に
区分し、神学校(座学)を
3年間のカリキュラムに
改編した上で、ここに在
学する学生を「神学校
生」と呼称し、その後行わ
れるインターンを受ける
学生を「教会付教職候補
生」と呼称することとい
いました。つまり、座学

	プレ神学校	1年		2年		3年		科目履修修了 (卒業)後 1-3年
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	
神学生 (専門科目) (履修関連) (集)=集中講義、 (選)=選択科目	入試	◆Ⅰ期:必修 68単位(32科目) +臨床牧会訓練Ⅰ・Ⅱ				◆Ⅱ期:必修 22単位 (8科目+卒論)		◆新インターン: 教会付教職候補生 プログラム
		ギリシア語Ⅰ ギリシア語Ⅱ(集) 旧約緒論Ⅰ 新約緒論Ⅰ 新約概論a 歴史神学Ⅰ・Ⅱ 神学通論 宣教学 実践神学演習Ⅰ	旧約緒論Ⅱ 新約緒論Ⅱ 新約釈義a 歴史神学Ⅲ・Ⅳ 教義学概説 礼拝理論と実践 ルター入門	ヘブル語Ⅰ ヘブル語Ⅱ(集) 新約釈義b 聖書神学Ⅰ 日本キリスト教史 教義学Ⅰ 礼拝学 牧会心理 ルター神学 (選)神学特講Ⅰ	旧約釈義a 聖書神学Ⅱ 教義学Ⅱ 信条学 説教学 実践神学演習Ⅱ (選)神学特講Ⅱ 卒論演習	旧約釈義b 現代神学Ⅰ ルーテル教会論 説教学演習(通年) 神学総合演習Ⅰ 卒論(通年) (選)原典講読Ⅰ (選)神学特講Ⅲ	現代神学Ⅱ 実践神学演習Ⅲ 神学総合演習Ⅱ (説教学演習通年) (卒論通年) (続)原典講読Ⅱ (選)神学特講Ⅳ	
		【Ⅰ期】キリスト教倫理、臨床牧会Ⅰ、臨床牧会Ⅱ、宣教学						
		◆1-3年 教会の実習プログラムに移行(非単位) ◆エクストラカリキュラムは継続:神学校の時間、礼拝、祈りと霊性、 インターバル&修養会(前期・後期) ◆夏・春長期休みの利用(特別プログラムの実施)						
エクストラ・ プログラム 新・教会実習 新・宣教研修	秋: オープンセミナー							
神学教育 委員会 神学院	志願生認定面接	神学生面接(年2回程)				神学生面接 教会付教職候補生面接	教師・任用試験	
学生 ・ 身分	神学校生							教会付 教職候補生
	神学生 = 「教職志願生」(JELC 神学教育委員会規程 3 の 1.(1))							

の学びを3年間しっかりと
としていただき、ここで牧
師としての適性が一定見
込めると考えられる学生
がインターンを行い、そ
で適性が妥当と判断され
て初めて按手を受けるた
めの教師試験を受験す
ることができるといこと
になります。

大切なことは、神学校
を卒業するという要件
を満たすことによつて、
そのまま按手となるので
はなく、その後のイン
ターンによつて牧師とな
る適性があると判断さ
れて初めて按手の受験
資格を得ることができ
るという点です。もちろ
んこれまでの神学校も同
様の理解で神学教育を
行ってきました。しかし、
このたびの改革によつ
て、牧師となるために必
要な座学における課題
と、牧師となるべき適性
の部分とを判断する役割
を明確に区分すること
によつて、座学における
責任は神学校に、適性
に関する責任は教会特に
神学教育委員会が担う
という責任分担が行わ
れることとなります。表
現を変えて言えば、学校
法人と宗教法人の責任
を明確に区分する体制
ということになります。

そもそも神学教育は、
教会の行う業であり、教
会が神学校にその働きの

特に座学の部分を委託
してきたわけですから、
今回の改革はいわば、本
来の形を整えるという意
味もあることをご理解
いただくと幸いです。牧
師を生み出すのは教会の
役割であり、その学生を
育てる責任も教会にある
ということです。

②現場教育の充実

図をご覧ください。分
かるようにインターンは
1年～3年という記載が
ある通り、学生の成長の
状況によつて柔軟に対応
できるようにしました。
これによつて、学校法人
のカリキュラムとして7
カ月間の宣教研修で一定
の結論を出すのではな
く、少なくとも1年間、
しっかりと現場で個々の
教会に受け入れられ、こ
れを指導する牧師(ある
いはチーム)が責任を持
つてインターン生を育て
るという充実した体制を取
ることができると考えて
います。もちろん指導す
る牧師やチームの判断の
みで適否を判断すること
は偏りを生む可能性も
ありますので、最終的な
判断は、神学校教員も含
まれている神学教育委員
会と、指導にあたった牧
師、チームで行うこと
によつて公正さを担保す
ることになります。いわば
神学校、神学教育委員

会、現場教職の三者が適
当と判断して初めて教師
試験が受けられるとい
ことになります。

この学生の適性の成長
については、インターン
だけでなく神学校生とし
て派遣される個々の教会
(主に都心の教会)にお
いても同様に対応をいた
だきたいと神学教育委員
会は考えています。実習
にいられている学生は、
数年後には牧師として
個々の教会に派遣され
ることが求められている
ことを踏まえて、対応
できるように考えていま
す。神学校は、大学を卒業
していることが入学の要件
となっており、本来であ
れば社会人として人生を
スタートする年齢である
ことから、神学教育委員
会が考える適性とは、い
わば社会人としてふさわ
しい振る舞いを期待する
ものだという事です。そ
の意味では、神学校生時
代の教会生活は社会人
となるための職業訓練
の場であるということです。

③奨学金制度の拡充

これらの体制の変化を
受けて、神学生特別奨学
金規定の改定も行いま
す。学生が学業や教会生
活にしっかりと向き合っ
ていただくため神学校生
に対しては月12万円の生
活費、インターン生につ

ては月10万円の生活費を
支給する制度に変更いた
します。これに神学校生
については神学校の授業
料を加算して支給するこ
ととしました。神学校生
1年次の借入れについて
は、牧師になつてから返
済をお願いすることとし
、2年次以降の奨学金
については15年牧師とし
て奉職すれば免除となる
という仕組みは変わりま
せん。奨学金の原資は、
個々の教会にお願いして
いる「神学生奨学金献
金」となっています。個々
の教会の財政も大変厳
しい中ではありますが、引
き続き協力をお願いし
たいと考えます。

④個々の教会へのお願い

一番お願いしたいこと
は、個々の教会で是非、神
学生を生み出していただ
きたいということです。

神学教育委員会は、召
命には二つあると考えて
います。
一つは、ご本人の牧師に
なりたいたいという心です。
これは決して外すことので
きない大切なことです。
教会が大好きで、宣教の
ためには何でもするという
信仰が個々の教会で育
つことを、心から願つて
います。

もう一つは教会が与え
る召命(任命)です。個々
人の召命が、教会の中で

皆に認められるものにな
るといことです。

よつて召命はさまざま
な試練の中で育てられる
ことも大切なことだと神
学教育委員会は考えてい
ます。牧師になるため
には、さまざまな経験と能
力が求められることも事
実だからです。聖書の専
門家であるだけでなく、
社会人としても、群れの
リーダーとしても、教会
の管理者としても知識と
見識が幅広く求められ
る職務だからです。図に
あります「ブレ」の部分
がここにあたります。個々
の教会で個々人の召命が育
つことと、教会が召すとい
う部分が十分に育てら
れて神学校に送り出して
頂くことを心から願つて
います。

個々人の召命を、教会
の与える召命に育てるこ
とが、いわば神学教育と
言えるでしょう。この大
切な働きを日本福音ルー
テル教会全体で担ってい
るといことを改めて確
認したいと考えます。

カンボジア訪問報告

中島和喜
(日本福音ルーテル
大江教会牧師)

2023年の全国教会
総会において、日本福音
ルーテル教会(JELC)
はアジア宣教、中でもカン
ボジア宣教を行つていく
ことが決議されました。一
から宣教したブラジル宣
教とは違い、既にある現地
の教会に協力していくこ
とが現実的だと判断され
ました。現地にはLCC
(Lutheran Church Cambodia)
という教会組織とLHC
(Lutheran Hope Cambodia
Organization)という地域開
発を主にしたNGOがあ
り、JELCはその二つと
連携し宣教協力をしてい
くことを考えています。今
回の訪問ではLCCの教
会3カ所とLHCの事
務所1カ所を視察してき
ました。

LCCの教会は現在5
つの教会と2つの伝道所
を持っています。礼拝以外
の日には、英語教室など
を開くことで地域から多
くの子どもが教会に集い、
信徒の数も年々増えてい
ます。牧師数は、私たちが訪
ねた際には5人でしたが、
11月に2人が按手を受
け、現在は7人になりました。
資金面でも海外からの
支援や農業経営などに
よつて安定しつつあり、私



たちが訪問した際には建
て替えられたばかりの奇
麗な教会も見ることがで
き、活力と希望に満ちて
いるように感じました。一
方で国民の大多数が仏教
徒であるカンボジアにあ
つて、キリスト教は拒絶さ
れることも多く、孤立を経
験することが大きな課題
であると語っていました。

もう一つの訪問先である
LHCは地域開発事業
を興し、農協を通しての農
業を中心とした経営を
行っています。農業指導や
財務指導、安定した収益
を得られるような契約体
制を構築し、地域の農家
を支える働きをしていま
す。特に女性のリーダー
シップ育成に熱心で、こ
れまでカンボジアは男性中
心の社会で、女性が働くこ
とは好ましく思われてい

ませんでしたが、LHC
に多くの女性が参加する
事で、価値観が変わるだ
けでなく、安定した収益を
得られるようになり、家族
の生活が大きく改善した
と教えていただきました。
二つの組織で共通して
求めているものは人材で
す。特に神学教育や農業
指導など、指導者の育成
という点は現地で解決で
きない問題でもあります。
また、孤立するキリスト者
たちの助けもまた、同じキ
リスト者からの祈りと励
ましであり、そういう意味
でも「人を欲しているとい
う状況です」。

実際にどのような働き
になるかはこれから検
討を重ねていくところ
ではありますが、改めて「人
の力の大きさを感じる訪
問となりました」。



訪問先の教会メンバーとの集合写真

メーガン・ティ宣教師自己紹介②

本記事は、1月号に掲載した自己紹介の後編です。

5. 日本での宣教活動で挑戦したいことは？

東京教会の皆さんと知り合い、どんなことにワクワクしているのか、どんな夢を持っているのかを聞くのが楽しみです。

皆さんと共にイエスと歩む旅に同行できることを光栄に思い、感謝しています。もし教会が関心を持ってくださるなら、東京で耳にする食や住まいの不安について、どのような

6. 日本で訪れてみたい場所はありますか？

北海道に行つてみたいですー私はアメリカのとても雪深い地域の出身なので、そりやスキーをまた体験できたらうれしいです。海にも行きたいです。家族みんな特に海が

7. 好きな聖書の一節は？

私がずっと好きな聖書箇所は、あまり説教で取り上げる機会がない(数年に一度、クリスマスに読まれる)ヨハネによる福音書一章4節です。

8. この聖句を選んだ理由？

この聖句は、イエスの人々への愛の力強い証し



石居基夫
(ルーテル学院大学学長・日本ルーテル神学校教授)

私の生まれ育つた武蔵野教会に、1966年、ヨハンナ・ヘンシェルという女性宣教師が着任されました。来日されてからすでに7年ほどたつていたと思います。共にドイツ福音主義教会から派遣されたエバ・マリア・シュツェ先生と共に三鷹にお住まいで、ディアコニッセとして東京下町のいわゆる『下町』

に伝えていけるか一緒に考えてみたいのです。また、日本福音ルーテル教会の他の教会の皆さんとも出会い、その信仰に満ちた活動についてもお話を伺いたいのです。

大好きです。最後に、本物の茶道を二度見てみたいと思つていました。もしおすめの場所があれば、ぜひ教えてください！

(簡易宿泊所の集まつている所 ※1)などで子どもセンターや独居の高齢者訪問などに従事してこられた方でした。

武蔵野教会でも、高齢のご家族や妊産婦などを訪問されましたが、時々教会学校でお話をしたり、子どもたちの賛美歌を教えてくださいました。

武蔵野教会でも、高齢のご家族や妊産婦などを訪問されましたが、時々教会学校でお話をしたり、子どもたちの賛美歌を教えてくださいました。

武蔵野教会でも、高齢のご家族や妊産婦などを訪問されましたが、時々教会学校でお話をしたり、子どもたちの賛美歌を教えてくださいました。

です。「言の内に命があつた。命は人間を照らす光であつた。」特に困難な時には、私は光に目を向けるようにしています。それがどこにあるか、どこで私に出会ふか。たとえわずかな光でも、それはイエスの愛と恵みによって、必ず光を持ち続けることができるといふ、神からの深い約束です。



メーガン・ティ宣教師近影

その光はより一層輝きます。これは私たちがしっかりと握つておくべき力強い言葉であり、人生がどこに導かれても、私たちは救い主イエス・キリストの愛と恵みによって、必ず光を持ち続けることができるといふ、神からの深い約束です。

先生は武蔵野教会を会場とした障がいを持つ幼児のための通園施設つばめ会を開設されました。教会の青年や女性たちが支えたその活動は、7年ほどで閉じましたが、日本での先駆的役割として高く評価されました。

森下真帆
(日本福音ルーテル八幡教会・小倉教会・門司教会直方教会牧師)

2025年11月11日、14日にベトナムのホーチミンで行われたメコン・ミッション・フォーラム(MMF)に森田哲史牧師と共に参加いたしました。

MMFは、メコン川流域の各国(タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、ラオス)のルーテル教会および関連諸施設と、それらを支援する世界の教会が一堂に会し、現地の宣教や支援についての情報を共有し、さらなる発展を目指す会議体です。

今回の主な議題は神学教育についてでした。メコン川流域各国では質の高い神学教育が求められており、ことにルター神学や文脈化神学(contextual theology)の分野でその傾向が顕著です。会議の前半では、さまざまな神学教育の発展に向けて活発に議論が交わされ、神学教育充実のための特別委員会が設置されたことが今回の大きな成果でした。後半では、この1年の活動報告、予算・決算の承認、審議事項の協議などが行われました。

MMFにあつて、各団体が受けた支援を公開

メコン・ミッション・フォーラム報告

する中、日本福音ルーテル教会が宣教協力を行つているカンボジアルーテル教会からは、次のような支援がリストアップされていました。神学教育支援(客員講師など)、牧会者及び信徒リーダー育成のためのトレーニング支援、地域の神学教育プログラムに対する奨学金および支援、文脈化神学の研修カリキュラムと教材の開発、開拓伝道および宣教拡大のための資金提供、地域集会の支援、インフラ整備支援(研修センター、礼拝施設、集会所など)、ネットワーキングとパートナーシップ形成、祈りと霊的支援。

このような例からもメコン川流域の教会がさらなる成長を目指して、意欲的に宣教に取り組ん

でいることがわかります。しかし、MMFが掲げているのは一方向的な支援ではありません。高まるニーズに応えながら、メコン地域と支援国が互いに学び合うような豊かな宣教協力を目指して、今後も協議が続けられていきます。

会議の間には、各国からの参加者と交流を深めることができました。特にカンボジアからの参加者とは多くの時間を共に過ごし、お互いの教会の状況や牧師になるまでのストーリーなどを、楽しく語り合うことができました。

来年のMMFは、ラオスで開催予定です。メコン地域の宣教についてとりわけカンボジアルーテル教会との宣教協力について引き続きお祈りいただければ幸いです。



メコン・ミッション・フォーラム出席者との集合写真

※1 『記者ハンドブック 新聞用字用語集 第14版(2022年発行 最新版で不快表現となつていますが、当時、簡易宿泊所街を指す表現として使用されていたため文脈を重視し使用しました。)](機関紙あさるうてる)掲載